

令和2年度事業報告

本法人では、昭和62年4月の養和荘の開所以降、順次施設整備等を行い、令和2年度は、13か所の拠点において延べ40の事業に取り組みました。基本理念である「選ばれる事業所・親しまれる事業所」に基づき、春日井市を中心とした尾張北部地域における障害福祉事業の主たる担い手として、障害のある方々がより安心して暮らせるよう安全かつ適正なサービスを提供すると共に、経営基盤の安定化、健全な法人運営に努め、サービスの質や職員の資質の向上を図りました。

令和2年度の主な事業実績につきましては、以下のとおりです。

なお、各拠点別の事業報告明細書は、別添のとおりです。

1. 中期計画の推進

(1) 施設整備

ア 高森台地区第3期工事

6月に入札、7月に落札業者と請負契約を締結し、以下のとおり整備しました。

(ア) 規模・構造

生活介護棟1棟(たかもり)及び共同生活援助事業棟2棟(グループホーム花桃・男女別各1棟、定員各5名、計10名、うち体験用各1名)を建設

生活介護棟(たかもり) 鉄骨造平屋建て 約879㎡

共同生活援助事業棟(グループホーム花桃) 木造平屋建て 約186㎡×2棟

(イ) 工期 R2.7~R3.3

(ウ) 整備費 593,032,000円

イ 廻間地区第4期工事

3月に入札、4月に落札業者と請負契約を締結し、以下のとおり整備しました。

(ア) 規模・構造 既存食堂棟 解体 325㎡、第二養和荘増築 82㎡、グラウンド整備

(イ) 工期 R2.4~R2.12

(ウ) 整備費 124,080,000円

(2) 新たな中期計画の策定

今後の法人や施設・事業所運営の指針となる中長期の視点を備えた計画として、基本理念の実現に向けて、四つの基本方針を定めると共に、基本方針に沿って定めた目標の達成に向けて、計画的な取組を推進する新たな中期計画を策定しました。

計画期間：令和3年度から7年度までの5か年

2. 財政基盤の安定

入札等の適正な執行、食材・消耗品等の共同発注などによりコスト削減、業務の効率化を図ると共に、各種加算の適正な確保等による障害福祉サービス等事業収入の増収に努めました。

コロナ禍の中においても一定の収入の確保を図る一方、退職等による人件費の減や、行事縮小等による支出の減額により、差引収支差額は増額となりました。

引き続き職員の処遇改善に取り組みながら、業務改善等に取り組み財政基盤の安定に努めていきます。

3. 人材の確保・育成

令和3年度に高森台地区において開所予定の新規事業に必要な職員や退職者補充のための人材を確保すると共に、職員の定着や職員研修の充実に努めました。

(1) 職員の採用

ア. 採用状況

令和2年4月2日～令和3年3月31日採用 4名(支援員4名)

令和3年4月1日採用 17名(支援員17名)

イ. 正規職員登用

希望者なし

ウ. 再雇用の状況

該当者なし

(2) 職員の退職

令和2年度中退職者 16名(自己都合16名)

(3) 職員の処遇改善

2号給アップと勤務評価加算による定期昇給に加え、令和元年度に創設された特定処遇改善加算を財源として、引き続き支援現場でリーダーシップを発揮する役職者や社会福祉士等の有資格者に重点を置いた手当を支給しました。

(4) 職員研修の充実

ア. 新規採用職員研修(20名)とフォローアップ研修(19名)の実施

イ. 知的障害を理解するための基礎講座(19名)

ウ. 知的障害援助専門員養成通信教育の受講(15名)(別に辞退2名)

エ. 新任副主任研修の実施(9名)

オ. 新任主任研修への参加(県社協、研修中止)

カ. 新任管理職員研修への参加(県社協、1名)(別に辞退1名)

キ. 課題研修の実施(9チーム、32名)

ク. 日本知的障害者福祉協会・愛知県知的障害者福祉協会主催等の研修に参加

4. 会議等の開催

事業報告・収支決算や事業計画・収支予算の審議及び理事長・業務執行理事の職務執行状況の報告等のため、理事会を6回、評議員会を4回開催しました。

なお、理事会6回のうち2回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた「緊急事態措置」の実施期間であったことから、理事会の開催自体を省略(決議の省略)して書面で賛否を問い、同意を得ました。

(1) 理事会

| 開催日 | 議題等 |
|-----------------------|--|
| 1 5月7日 (決議の省略) | 【議題】 高森台地区第3期工事入札に関する事項について |
| 2 5月25日 (決議の省略) | 【議題】①令和元年度計算書類・事業報告(附属明細書含む)及び財産目録の認、②定時評議員会の開催、③職員就業規則の改正、④高森台地区第3期工事に係る事業計画の変更、⑤令和2年度第1次収支補正予算(案)、⑥高森台地区第3期工事に係る入札に関する事項、⑦高森台地区第3期工事に係る資金の借入れ 【報告事項】①職員の不祥事、②新型コロナウイルス感染症への対応 |
| 3 6月10日 | 【議題】①高森台地区第3期工事に係る請負契約の締結 【報告事項】①理事長及び業務執行理事の職務の執行状況、②廻間地区第4期工事に係る請負契約の締結 |
| 4 9月11日 | 【議題】①令和2年度第2次収支補正予算(案)、②令和2年度第2回評議員会の開催 【報告事項】・愛知県社会福祉施設職員慰労金の支給 |
| 5 11月11日 | 【議題】①令和2年度第3次収支補正予算(案)、②令和2年度第3回評議員会の開催 【報告事項】①理事長及び業務執行理事の職務の執行状況、②養楽福祉 |

| | | |
|---|-------|---|
| | | 会の生活介護事業(通所)、③中間監事監査の結果 |
| 6 | 3月11日 | <p>【議題】①規程等の改正(公印取扱規程、組織規程、決裁規程、職員給与規程、経理規程)、②令和2年度第4次収支補正予算(案)、③令和3年度事業計画及び収支予算、④令和3年度資金運用計画、⑤令和2年度第4回評議員会の開催、⑥幹部職員の人事異動、⑦新たな中期計画の策定、⑧評議員選任・解任委員会の開催及び評議員候補者の推薦</p> <p>【報告事項】①職員等の採用・退職の状況②新型コロナウイルス感染症対策③令和3年度社会福祉法人養楽福祉会監事監査計画</p> |

(2) 評議員会

| 開催日 | 議題等 |
|-------------|--|
| 1 6月17日 | <p>【議題】①令和元年度計算書類及び財産目録の承認、②高森台地区第3期工事に係る事業計画の変更、③令和2年度第1次収支補正予算</p> <p>【報告事項】・令和元年度事業報告・理事長及び業務執行理事の職務の執行状況・職員の不祥事・新型コロナウイルス感染症への対応</p> |
| 2 9月24日 | <p>【議題】①令和2年度第2次収支補正予算</p> <p>【報告事項】愛知県社会福祉施設職員慰労金の支給</p> |
| 3 11月24日 | <p>【議題】①令和2年度第3次収支補正予算</p> <p>【報告事項】・理事長及び業務執行理事の職務の執行状況・養楽福祉会の生活介護事業(通所)・中間監事監査の結果</p> |
| 4 3月19日 | <p>【議題】①令和2年度第4次収支補正予算、③令和3年度事業計画及び収支予算、③新たな中期計画</p> <p>【報告事項】・職員等の採用退職の状況・幹部職員の人事異動・新型コロナウイルス感染症対策・令和3年度監事監査計画</p> |

(3) 監事監査

| 実施日 | 監査内容 |
|----------------|-------------|
| 5月13日 | 令和元年度決算監査 |
| 10月14日・16日・21日 | 各施設等の巡回業務監査 |

(4) 運営会議

運営会議を年9回開催し、各施設の現況を共有すると共に、経営改善・事業間調整・サービス向上など施設運営に関する重要事項を協議しました。

5. 苦情解決体制の整備

「社会福祉法人養楽福祉会福祉サービスに関する苦情解決規程」を定め、苦情解決のための体制を整えています。令和2年度は、はるひ荘の短期入所利用に関して、匿名で運営適正化委員会に連絡が入った事案のほか、はさまにおいて1件、なかぎりで2件、わかばでは1件と合計5件の苦情が寄せられました。

はさまの地域活動支援センターにおいて、食事の提供形態の誤り(刻み食の提供依頼を一口大で提供)に伴い1年余の期間の給食代金を返還した事案、わかばでは利用者の背中への引っかき傷があるのを確認したものの家族に対しては連絡が不十分であったこと等から不信感を抱かれた事案など、迅速で丁寧な対応が求められる事案の発生がありました。

そのほか、なかぎりでは、納品時間の遅れと代金確認誤りが同時に発生した事案のほか、事業所近郊のコンビニエンスストアにおける利用者の言動(店員や他のお客様への絡み等)に対する苦情がありました。

匿名の案件を除き、申出者へは、苦情解決責任者である施設長等から謝罪、事情説明をして納得いただくと共に、関係職員への指導や職員間での情報共有、利用者への丁寧な指導に努めました。さらに、すべての職員の意識を高める取り組みを推進し、再発防止に努めてまいります。

6. サービス評価の実施

福祉サービスの質の向上を図るため、平成 27 年度から「福祉サービス第三者評価」を受審しており、令和 2 年度は、養和荘、第二養和荘、はるひ荘、さいおワークスで実施しました。

7. 経営・労務管理の改善

平成 28 年度から公認会計士の助言・指導を受けながら、各種規程や資産管理の見直しなど経営・労務管理の改善に取り組んでおり、令和 2 年度は、前年度までに作成した業務手順書を実際に運用してその内容を検証すると共に、必要な見直しを行いました。新たな中期計画の策定に向けても、他の同種法人の例等を参考にした公認会計士の助言を受けながら進めました。

8. 借入金返済

| 借入先 | 年度当初借入残高 | 借入額 | 償還額 | 年度末借入残高 |
|--------|--------------|------------|-----------|--------------|
| 福祉医療機構 | 849,091 千円 | 262,600 千円 | 60,380 千円 | 1,051,311 千円 |
| 瀬戸信用金庫 | 354,207 千円 | 100,000 千円 | 26,172 千円 | 428,035 千円 |
| 合計 | 1,203,298 千円 | 362,600 千円 | 86,552 千円 | 1,479,346 千円 |

9. 施設整備積立金

| 前年度末積立額 | 年度中積立額 | 年度中取崩額 | 年度末積立額 |
|--|-----------|------------|-----------|
| 207,256 千円 | 29,070 千円 | 207,256 千円 | 29,070 千円 |
| ◎運用状況（令和 3 年 3 月 31 日） | | | |
| 令和 2 年度決算時の通常積立見込分（GH 家賃相当＋寄附金）で普通預金運用中。令和 4 年度に予定しているグループホームの気噴及び高森の改築費用となり、令和 3 年度は 1 年の大口定期で運用予定。 | | | |

10. 新型コロナウイルス感染症への対応

各施設等とも感染予防対策の徹底のため、遠足、行楽等の外出の取りやめ、保護者等の面会を控えていただくなど一部縮小による影響がありましたが、利用者、職員等の発熱情報を法人内全施設での共有するほか、新型コロナウイルス感染症を想定した B C P を作成するなど緊急時に備えた体制を整えながら通常の事業を実施しました。

また、感染症発生時に支援を継続するために必要な物品の購入(5 拠点、1,506 千円)、テレビ会議開催のための環境整備(13 拠点、1,294 千円)及び感染予防徹底のため衛生用品の購入等(12 拠点、8,245 千円)を行ったほか、発症した利用者の居室となる「多機能型簡易居室」を廻間地区(養和荘、第二養和荘、グループホーム)用として 2 棟、高森台地区(養楽荘、はるひ荘)用として 1 棟の計 3 棟を整備しました。

なお、愛知県が経費を負担する入所施設及びグループホームの職員を対象とする P C R 検査について、3 月末に実施をし、全て陰性でありました。

事業報告附属明細書（地域サポートセンター）

障害がある方の地域生活をサポートするために、共同生活援助事業、地域活動支援センター事業、居宅介護事業、移動支援事業、福祉有償運送事業を実施しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 共同生活援助事業（グループホーム）

（1）利用状況

GH 坂下・太陽・さいお・王子の計4事業所12ユニット、利用者64名で事業展開してきました。2か所の事務所（廻間、王子）で連携し、利用者支援・現場世話人へのフォローをきめ細かく行える体制をとっています。各GHの利用実績については、ほぼ例年通りの状況です。

| | | 令和2年度 | 令和元年度 | 前年度比 |
|-----|-----------|--------|--------|---------|
| 坂下 | 利用者数（定員数） | 17名 | 17名 | 100.00% |
| | 開所日数 | 365日 | 366日 | 99.72% |
| | 延べ利用者数 | 5,946名 | 5,771名 | 103.03% |
| | 1日平均利用者数 | 16.29名 | 15.76名 | 103.36% |
| | 利用率 | 95.82% | 92.75% | |
| 太陽 | 利用者数（定員数） | 12名 | 12名 | 100.00% |
| | 開所日数 | 365日 | 366日 | 99.72% |
| | 延べ利用者数 | 3,665名 | 3,702名 | 99.00% |
| | 1日平均利用者数 | 10.04名 | 10.11名 | 99.30% |
| | 利用率 | 83.67% | 84.28% | |
| さいお | 利用者数（定員数） | 20名 | 20名 | 100.00% |
| | 開所日数 | 365日 | 366日 | 99.72% |
| | 延べ利用者数 | 6,691名 | 6,605名 | 101.30% |
| | 1日平均利用者数 | 18.33名 | 18.04名 | 101.60% |
| | 利用率 | 91.65% | 90.23% | |
| 王子 | 利用者数（定員数） | 15名 | 15名 | 100.00% |
| | 開所日数 | 365日 | 366日 | 99.72% |
| | 延べ利用者数 | 3,997名 | 3,362名 | 118.88% |
| | 1日平均利用者数 | 10.95名 | 9.18名 | 119.28% |
| | 利用率 | 73.00% | 61.23% | |

（2）入退所の状況

| | | |
|----|----|------------------------|
| 退所 | 1名 | 第二養和荘へ、理由：病気による身体機能の低下 |
| 入所 | 1名 | 在宅より |

(3) 行事

新型コロナウイルスの感染拡大により、一般の方と接触するような行事・外出は実施できませんでした。GH ごとに利用者・職員で行える行事は感染予防をしつつ実施しました。

| | | |
|----|------|-------------------------------|
| 8月 | 花火大会 | GH 近くの広場・駐車場等で花火を楽しむ。 |
| 毎月 | 外注食 | 利用者の希望で店を選び、GH にて普段と違う食事を楽しむ。 |

2. 地域活動支援センター事業（土日）

GH 利用者を中心として4月より定員28名に増員し事業展開しました。新型コロナウイルスの感染拡大により、外出・社会参加などは制限せざるを得ませんでした。レクリエーションやドライブ等できるだけリフレッシュに繋がる活動となるよう努めました。

利用実績については、定員増により利用率が低下しましたが、利用者数は微増となりました。

| | 令和2年度 | 令和元年度 | 前年度比 |
|----------|--------|--------|---------|
| 開所日数 | 102日 | 104日 | 98.07% |
| 延べ利用者数 | 1,336名 | 1,195名 | 111.79% |
| 1日平均利用者数 | 13.09名 | 11.49名 | 113.92% |
| 利用率 | 46.77% | 95.75% | |

3. 居宅介護事業・移動支援事業・福祉有償運送事業（移動サービス）

新型コロナウイルスの感染拡大により、居宅介護は生活に必要不可欠な場合、移動支援は時期を選び密を避けた散歩程度、とサービス内容を限定・縮小せざるを得ませんでした。実績としてはいずれも大幅減となっています。

移動支援については、地域の感染状況に収束の目途が立たないため、年度末で事業を休止としました。また、福祉有償運送については、運転手の確保が困難になっているため、年度末で終了としました。

| | | 令和2年度 | 令和元年度 | 前年度比 |
|------------------|--------|-------|-------|---------|
| 居宅介護 | 契約者数 | 28名 | 28名 | 100.00% |
| | 延べ利用者数 | 308名 | 634名 | 48.58% |
| 行動援護 | 契約者数 | 5名 | 5名 | 100.00% |
| | 延べ利用者数 | 83名 | 147名 | 56.46% |
| 移動支援 | 契約者数 | 47名 | 49名 | 95.91% |
| | 延べ利用者数 | 286名 | 836名 | 34.21% |
| 移動サービス (有償運送) | 契約者数 | 2名 | 4名 | 50.00% |
| | 延べ利用者数 | 70名 | 304名 | 23.02% |

4. 防災

下記の通り訓練を実施しました。

| | |
|------------|---|
| GH | 避難訓練3回（火災、地震→火災、風水害想定） 災害伝言ダイヤル使用訓練（職員対象） 通報訓練（非常通報装置設置のGH対象） |
| 地域活動支援センター | 避難訓練1回（地震→火災想定） |

事業報告附属明細書（総合相談支援センター）

障害のある方が地域でより豊かに生活できるように、春日井市相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援事業、一般相談支援事業、扶桑町相談支援事業、障害者就業・生活支援センター事業、障害児等療育支援事業を実施しました。事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 障がい者生活支援センターかすがい

(1) 相談支援事業（委託相談）

春日井市の委託を受け、事業計画通り2名の有資格（社会福祉士等）相談員を配置し、主に知的障害者及びご家族の方々へ基本相談を実施しました。

新型コロナウイルスが疑われる単身の障害者や高齢なご家族を含めた世帯へ、緊急事態として対応することがありました。措置中である学生の卒業後のために、関係機関と連携を図るケースや施設入所利用者の生活が滞り、成年後見制度利用の支援を行うケースが増えました。

福祉サービスの利用、調整については、下記（2）の特定相談支援事業へ移管できてきており、サービスにつながらない部分の相談が主な内容と変化してきています。

| | 令和2年度 | 令和元年度 | 前年度比 |
|----------|--------|--------|--------|
| 相談件数 | 1,483件 | 1,654件 | 89.66% |
| 相談者数（新規） | 152人 | 159人 | 95.59% |

(2) 特定相談支援事業（自主事業）

本事業の積極的な推進を図るため、上記（1）との兼任者を含め、4.3名の常勤換算数で臨みました。法人内の事業所との連携のもと「サービス等利用計画」・「継続利用支援計画（モニタリング）」の作成件数は着実に伸びました。特に、障害児相談支援の依頼は前年度より大きく上回りました。質の高い計画相談支援を展開するため、月1回の事例検討スーパービジョンも実施したことで、相談員のスキルが担保できました。

| | 計画相談 | モニタリング | サービス提供時 モニタリング加算単独 |
|-------|---------|---------|-----------------------|
| 令和2年度 | 476 | 787 | 50 |
| 平成元年度 | 388 | 414 | 37 |
| 前年度比 | 122.68% | 190.09% | 135.13% |

2. 障害児・者総合相談センターふそう（扶桑町相談支援事業）

扶桑町の委託を受け、有資格相談員1名を専従として配置して実施しました。年々事業の周知も広がり、相談者数、相談件数は上がってきております。障害者の重度・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能（相談・体験の機会のある場、緊急時の受け入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）に着目し、障害者の生活を地域全体で支えるサービスの提供体制を構築していくため、基本相談の他、ソーシャルワークを実践するなかで自立支援協議会の事務局機能も担うこととなり、地域課題を協議する専門部会が活性化し

ました。

| | 相談者数 | 相談件数 |
|-------|---------|---------|
| 令和2年度 | 74名 | 649件 |
| 平成元年度 | 68名 | 428件 |
| 前年度比 | 108.82% | 151.63% |

3. 尾張北部障害者就業・生活支援センターようわ（雇用安定等事業・生活支援等事業）

国（労働局）と県（福祉局障害福祉課）の両面より委託を受け、障害者の就業面と生活面を一体的に支援するため、事業計画通り主任就業生活支援ワーカー1名、就業支援ワーカー2名、生活支援ワーカー1名を坂下事務所へ、就業支援ワーカー2名をサテライト柏森事務所に配置し、計6名で実施をしました。

通常の就業・生活相談支援と年2回の関係機関のネットワーク構築のための会議、中小企業担当者の交流会議の他、年4回の在職者交流活動、ピア・サポート活動を実施しました。

新型コロナウイルスの影響から、緊急事態宣言中に、自宅待機や在宅勤務を指示されたことで、生活リズムの乱れや、生活が困窮する相談者が発生し、対面支援はできなくとも電話での対応が増えました。年度途中で新型コロナ対策費として委託費が増額され、オンラインにより対応できるよう整備を行い、ZOOMでの就職活動や会議が多く開催されました。

今年度の特徴としては、登録者の高齢化（60歳以上の登録）が目立ち、虐待、犯罪事案も多く、関係機関と連携を取るケースが増えました。

| | 令和2年度 | 平成元年度 | 前年度比 |
|--------|----------|--------|---------|
| 登録者 | 967名 | 954名 | 101.36% |
| 相談件数 | 8,519件 ※ | 6,141件 | 138.72% |
| 職場実習件数 | 64件 | 80件 | 80.00% |
| 就職者件数 | 109件 | 112件 | 97.32% |
| 職場定着率 | 85.7% | 86.5% | 99.07% |

※相談件数識別（登録者：6,131件、関係機関：1,137件、事業主：1,251件）

4. 障害児等療育支援事業

愛知県より委託を受け、尾張北部圏域における在宅障害児・者のライフステージにおける3事業（在宅支援訪問療育指導事業、在宅支援外来療育等支援事業、施設支援一般指導事業）を実施しました。事業の性質上、多くの参加者が集まる開催内容であることから、新型コロナウイルスの影響を多大に受け、緊急事態宣言後も年間で組まれていたスケジュールから大きく変更をされ、中止も多くあり計画通りに実施ができませんでした。圏域内各市町には、児童発達支援センターなど整備がされたことにより、当事業は支援施設としてより専門性が期待されています。

| | 令和2年度 | 平成元年度 | 前年度比 |
|---------------|-------|-------|--------|
| 在宅支援訪問療育等指導事業 | 13回 | 24回 | 54.16% |
| 在宅支援外来療育指導事業 | 14回 | 34回 | 41.17% |
| 施設一般指導事業 | 63回 | 99回 | 63.63% |

事業報告附属明細書（障害者支援施設 養和荘）

生活介護事業(定員 75 名)、施設入所支援事業(定員 75 名)、短期入所事業(定員 5 名)を提供しました。新型コロナウイルス感染症の関係から利用者の感染対策が中心の一年となり、施設内での生活から、外出・外食、面会や外泊制限など、今までにない対応を迫られ、利用者の皆さんを始め、ご家族にも協力をお願いしてきました。その中で利用者の皆さんに不自由を感じさせないよう、日々の生活を充実したものとなるように考えて支援に取り組んできました。事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 利用者の状況

生活介護事業・施設入所支援事業につきましては、コロナの影響から、帰省・外泊が無くなったことにより、利用状況は増加しました。短期入所事業はその逆で、定期的に利用されている契約者の利用控えから利用者数の減少につながりました。

短期入所事業では、緊急、長期の利用者の受け入れも行いました。

利用者の状況は下表のとおりです。

| | 定員 | 開所日数 | 年度 | 利用状況 | | |
|------|-----|------|-------|---------|---------|----------|
| | | | | 延利用者数 | 利用率 | 1日平均利用者数 |
| 生活介護 | 75名 | 269日 | 令和2年度 | 19,847名 | 98.37% | 73.78名 |
| | | 270日 | 令和元年度 | 19,506名 | 96.32% | 72.24名 |
| | | | 対前年比 | 101.74% | | |
| 施設入所 | 75名 | 365日 | 令和2年度 | 27,366名 | 99.96% | 74.97名 |
| | | 366日 | 令和元年度 | 26,975名 | 98.26% | 73.70名 |
| | | | 対前年比 | 101.44% | | |
| 短期入所 | 5名 | 365日 | 令和2年度 | 1,806名 | 98.95% | 4.94名 |
| | | 366日 | 令和元年度 | 2,179名 | 119.07% | 5.95名 |
| | | | 対前年比 | 82.88% | | |

2. 入退所の状況

| 入 所 | | | 退 所 | | |
|------|-----|------|-------|-----|--------|
| 月 日 | 人 数 | 備 考 | 月 日 | 人 数 | 備 考 |
| 6月1日 | 1名 | 在宅より | 5月31日 | 1名 | 第二養和荘へ |
| | | | 3月22日 | 1名 | 第二養和荘へ |

3. 支援体制

個別支援計画に沿って、日常生活支援及び日中活動支援を行いました。午後の個別支援活動にて利用者個々に自立支援課題を作成し、その活動内容の充実を図るようにしました。

(1) 日中活動

| 活動名称・員数 | 内 訳 | 活 動 内 容 |
|-------------------|-----------------|---|
| 農 耕 (14名) | 男性：14名 女性：0名 | 敷地内の畑にてサツマイモ、枝豆等の栽培、収穫をしました。収穫したものは調理し利用者全員が試食をして楽しみました。 |
| 療 育 (20名) | 男性：16名 女性：4名 | 外周路等の歩行やドライブを活動の中心とし、雨天時には室内で身体を動かすことで精神的な安定を図ることができました。 |
| スノーブレン (14名) | 男性：7名 女性：7名 | スノーブレン機器を活用して、リラックスして過ごす事と、運動量が少ないため歩行も取り入れました。 |
| 運 動 (18名) | 男性：13名 女性：5名 | 季節毎に歩行するルートを変えたり、エアロバイク等の運動器具を使用して幅広いメニューに取り組むことができました。 |
| 園芸、フェルト工芸 (9名) | 男性：0名 女性：9名 | 花壇を用いて花の栽培を行い、11月には市寄付の苗の植え込みも行いました。フェルト作品は春日井市役所作品展等に出展しました。 |
| ヒップホップ (15名) | 男性：10名 女性：5名 | 春日井まつり等出演舞台がすべて中止になりました。あいちアール・ブリュットのステージ部門に登録しました。今後ステージ依頼があれば参加します。 |

※リラクゼーションとしてのフロアスノーブレンや余暇活動での調理実習を実施し、楽しく過ごす時間が増えました。

(2) 主な行事等

| 実施日 | 行 事 等 | 行 先 ・ 開 催 場 所 |
|--------|--------|---|
| 8月20日 | 夏祭り | 管理棟・養和荘1階フロア |
| 11月19日 | バーベキュー | 養和荘芝生・ウッドデッキ |
| 12月10日 | 餅つき | 養和荘1階多目的室・各フロア食堂 |
| 12月25日 | クリスマス会 | 養和荘多目的室・会議室 |
| | 小行事 | 春を感じる会(4/12) コロナを乗り切る会(5/29)夏を楽しむ会(7/31)、お月見(9/29)、ハロウィン(10/30)、秋の大運動会(10/13)、忘年会(12/17) |
| | 外出、外食 | ぴざどき、黒屋、わさび、四季亭、ト・ガリアーノ、ものがたり、にぎりや徳兵衛、やまもと等 塩可公園、定光寺公園、虎溪公園、効ワートあさひ、みたけの森、三の倉市民の里、地球村等 |

※外出、外食は2～6名程度の少人数にて出掛け、利用者一人あたり3～4回実施することができました。

4. 給食

今年度からキッチン高森からの給食提供となりましたが、栄養マネージメントを通して、栄

養バランス・利用者に合わせた食事形態・カロリー計算をして食事提供を行なってきました。また、利用者の嗜好調査や、利用者のリクエストメニューを反映させ献立作りをしてきました。

5. 健康管理

健康診断を年2回名古屋公衆医学研究所に依頼し検診車にて実施すると共に、歯科検診を定期的に行いました。今年度は、利用者のインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等の罹患はありませんでした。

| | | |
|--------|-------------|---------------|
| 5月22日 | 利用者健康診断 | 名古屋公衆医学研究所検診車 |
| 10月2日 | 利用者健康診断 | 名古屋公衆医学研究所検診車 |
| 11月11日 | インフルエンザ予防接種 | 森医師 |
| 月1回 | 嘱託医来所、健康相談 | 沖医師 |
| 〃 | 内科医による診察 | 森医師 |
| 年2回 | 嘱託歯科医による検診 | 川原歯科医師 |

6. 環境整備

清潔で快適な生活環境を維持できるよう日々の清掃等に心掛けました。修繕、修理等が必要なものは、利用者に不自由を掛けないように業者に依頼するものと、支援員で行うものに振り分け早期に対応を図りました。

7. 非常災害対策、防犯

災害が発生した場合に、利用者の生命を最優先に行動できるよう避難誘導訓練等を実施しました。防犯対策については、防犯マニュアルをもとに緊急時の対応や防犯機器の取り扱いについての教育を行いました。また、事業継続計画（BCP）の情報収集、基礎資料の作成を行い、備品の購入もはじめました。

| 実施日 | 訓練内容 |
|--------|--|
| 4月2日 | AED訓練等（新規採用者対象） |
| 6月18日 | 日中想定避難誘導・通報訓練 |
| 7月21日 | 日中想定火災避難誘導・通報訓練 |
| 8月6日 | 夜間想定火災避難誘導・通報訓練 |
| 9月1日 | 総合防災訓練（炊き出し訓練、地震体験車・煙道体験） 日中地震想定火災避難誘導・通報訓練 |
| 10月15日 | 夜間想定火災避難誘導・通報訓練 |
| 11月26日 | 夜間想定火災避難誘導・通報訓練 |
| 12月17日 | 夜間想定火災避難誘導・通報訓練 |
| 1月15日 | 災害伝言ダイヤル訓練 |
| 1月21日 | 夜間想定火災避難誘導・通報訓練 |
| 2月18日 | 夜間想定火災避難誘導・通報訓練 |
| 3月4日 | 風水害想定避難誘導 |

事業報告附属明細書（障害者支援施設 第二養和荘）

生活介護事業（定員 40 名）、施設入所支援事業（定員 40 名）、短期入所事業（定員 2 名）を実施しました。利用者の高齢化が進む中、安全で快適な生活を送ることができるように配慮すると共に、医療機関との連携を図りました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 基本計画

(1) 利用者の状況

生活介護については、施設入所支援契約者のうち 2 名は法人内の「わかば」就労継続支援 B型を利用していましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、利用中止となり、利用者数が微増しました。施設入所については、入院が多く利用者数は微減しました。そのため、短期入所の利用を積極的に行い、前年度より利用率は上がりました。

| | 定員 | 開所日数 | 年度 | 利用状況 | | |
|------|-----|------|------|---------|---------|----------|
| | | | | 延べ利用者数 | 利用率 | 1日平均利用者数 |
| 生活介護 | 40名 | 269日 | 2年度 | 10,392名 | 96.57% | 38.63名 |
| | | 270日 | 元年度 | 10,231名 | 94.73% | 37.89名 |
| | | | 前年度比 | 101.57% | | |
| 施設入所 | 40名 | 365日 | 2年度 | 13,980名 | 95.75% | 38.30名 |
| | | 366日 | 元年度 | 14,068名 | 96.09% | 38.43名 |
| | | | 前年度比 | 99.37% | | |
| 短期入所 | 2名 | 365日 | 2年度 | 776名 | 106.30% | 2.12名 |
| | | 366日 | 元年度 | 451名 | 61.61% | 1.23名 |
| | | | 前年度比 | 172.06% | | |

(2) 入退所の状況

| 入 所 | | | 退 所 | | |
|---------|----|--------|---------|----|--------|
| 月 日 | 人数 | 備 考 | 月 日 | 人数 | 備 考 |
| 6月 1日 | 1名 | 養和荘より | 4月 2日 | 1名 | 死亡 |
| 11月 1日 | 1名 | GH太陽より | 9月 3日 | 1名 | 死亡 |
| 11月 16日 | 1名 | 在宅より | 10月 14日 | 1名 | 医療行為発生 |
| 11月 17日 | 1名 | 養楽荘より | 10月 20日 | 1名 | 医療行為発生 |
| 12月 1日 | 1名 | 養楽荘より | 10月 31日 | 1名 | 医療行為発生 |
| 3月 23日 | 1名 | 養和荘より | 3月 21日 | 1名 | 医療行為発生 |

2. 支援内容

(1) 個別支援計画

新型コロナウイルス感染予防のため、対面での個別懇談会ではなく、書面や電話での意向確認となりましたが、各利用者6か月に1回見直しを行いました。

(2) 健康管理

利用者の健康管理として、下記のとおり実施しました。

| | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 5月19日、10月13日 | 利用者健康診断 | 名古屋公衆医学研究所 |
| 11月5日 | インフルエンザ予防接種 | 牧野ファミリークリニック |
| 月1回 | 嘱託医来所、健康相談 | 沖医師 |
| 月1回 | 内科医による診察 | 牧野医師 |
| 年2回 | 嘱託歯科医による検診 | 川原歯科医師 |

今年度もインフルエンザの罹患者、新型コロナウイルスの罹患者はいませんでした。手洗いとうがいの励行、手指や器具類のアルコール消毒や常時手袋、マスクの着用をしました。転倒による怪我の防止のための補装具の作製を行う等、利用者の高齢化に伴っての身体機能の低下への対応を利用者個々に行いました。

病気による医療機関への入院は下記のとおりでした。

| 年度 | 入院者数 | 入院期間 |
|-----|---------|---------------|
| 2年度 | 8名(13回) | 400日(入退院日を含む) |
| 元年度 | 7名(8回) | 236日(入退院日を含む) |

(3) 給食

今年度よりキッチン高森からの給食提供となりましたが、利用者の状況を栄養士に報告し、食事形態や提供方法を個々の状態に合わせて対応することができました。また、食前に嚥下体操を行い誤嚥の予防に努めました。

(4) 入浴

月・水・金曜日を入浴日とし、利用者の介護度により一般浴と機械浴に分けて実施しました。発汗や汚染した際には適宜シャワー浴を行いました。

(5) 日中活動支援

創作活動で制作した作品は、作品展への出展をコロナウイルス感染予防のため見合わせましたが、施設内で掲示をしていきました。また、月2回訪問リハビリは6月から再開し、助言を受けました。8月からは音楽活動を開始し、音楽療法を交えた内容としました。

| 活動名称 | 人数 | 活動内容 |
|---------------------------|------|--|
| リハビリ (午前) | 30名 | 歩行器等を使用しての館内歩行、平行棒や手すりを使った立ち上がりの運動を中心に、筋力維持・身体機能の回復を中心に行っています。 |
| 創作活動 (午前・午後) | 10名 | 午前は絵画制作やフェルトにパンチングをして立体的な作品を作って飾っています。午後は破る、切る、貼る、塗る等の工程の得意な部分を受け持ち、全員で一つの作品を作ります。 |
| レクリエーション ・ゆったり (午後) | 16名 | レクでは遊具を使ってのゲームや、カラオケやCDに合わせた楽器演奏等で楽しみます。ゆったりでは足浴や、スノーレン用具等を使ってリラックスして過ごしています。 |
| 園芸 | 3~5名 | プランターでの栽培でイチゴやキュウリ等も植え、収穫も行っています。 |

(6) 行事・余暇等

行事・余暇については下記のとおり実施しました。小班編成でのグループ外出・食事会は、新型コロナウイルス感染予防のため中止しましたが、人の少ない公園等にドライブも兼ね出掛けました。

| | | |
|---------|---------|-------------------------|
| 5月5日 | 端午の節句 | 第二養和荘エレベーターホール |
| 6月11日 | お楽しみ音楽会 | 第二養和荘ダイルーム |
| 7月7日 | 七夕会 | 第二養和荘エレベーターホール |
| 7月他 | 調理実習 | フルーツポンチ、ロールケーキ他 |
| 10月20日 | 花火 | 養和荘グラウンド |
| 12月17日他 | ナイトドライブ | イルミネーション鑑賞 |
| 12月28日 | 冬の花火大会 | 養和荘グラウンド |
| 12月24日 | クリスマス会 | 第二養和荘ダイルーム（食事、レクリエーション） |
| 1月14日 | 新年会 | 第二養和荘ダイルーム（食事、レクリエーション） |
| 2月他 | 書初め | 第二養和荘ダイルーム |
| 2月2日 | 節分 | 第二養和荘ダイルーム |
| 3月3日 | ひな祭り | 第二養和荘エレベーターホール |
| 3月11日 | おつかれさま会 | 第二養和荘ダイルーム（食事、レクリエーション） |
| 3月25日 | お花見 | 団子を食べながら荘付近の花を観る。 |

(7) 環境整備

業者によるクロスの張り替え工事を行いました。日常的な施設設備の点検や日頃の清掃や整理整頓に心掛けて、快適に生活することができる環境作りに努めました。

3. 非常災害対策・防犯対策

火災・震災発生を想定した避難誘導訓練等については、下記のとおり実施しました。

| | |
|-----------------|-------------------------|
| 4月5日 | 新規採用職員防災教育、消火訓練 |
| 5月15日、7月17日、他5回 | 夜間の火災想定、通報及び避難誘導訓練 |
| 9月1日 | 日中の地震・火災想定、避難誘導訓練、炊出し訓練 |

4. ピロティ部分増築等

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、工期が遅れることがありましたが、12月末には玄関、荘長室、事務室等整備することができました。

5. 第三者評価

外部評価機関（中部評価センター）にて第三者評価を受審しました。

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 はさま）

生活介護事業は年度当初定員 25 名にて実施しましたが、愛知県より前年度平均利用者数が定員超過しているため定員を増員するよう指導を受け、令和 3 年 1 月から定員 30 名として実施しました。また、春日井市事業で土曜・日曜日の余暇支援として地域活動支援センター事業（定員 29 名＋緊急時 1 名、契約者 78 名）を実施しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

生活介護

1. 利用実績（令和 3 年 3 月末日現在の利用契約者数 39 名）

| 年度 | 開所日数 | 区分 6 | 区分 5 | 区分 4 | 区分 3 | 区分 2 | 合計 |
|---------|-------|---------|---------|---------|---------|------|---------|
| 令和 2 年度 | 257 日 | 3,377 名 | 3,032 名 | 1,094 名 | 111 名 | 0 名 | 7,614 名 |
| 令和元年度 | 257 日 | 3,370 名 | 3,097 名 | 1,100 名 | 13 名 | 0 名 | 7,580 名 |
| 前年度比 | | 100.20% | 97.90% | 99.45% | 853.84% | — | 100.44% |

※ 1 日の平均利用者数 29.62 名（令和元年度 29.49 名）

※ 平均障害支援区分 5.27（令和元年度 5.29）

2. 利用者状況

| 利用開始 | | 利用終了 | |
|------|---|------|--|
| 1 名 | 6/29 わかばより週 2 日利用 (8/24 より 5 日利用) ※利用日数変更 | 5 名 | 5/31 養和荘入所 7/31 養楽荘入所 11/30 わかば利用へ |
| | 8/10 週 2 日から 5 日利用 | | 3/31 養和荘入所 |
| | 9/2 週 3 日から 5 日利用 | | 3/31 他法人の入所施設へ |
| | 9/8 週 2 日から 4 日利用 | | |
| | (12/2 から 5 日利用) | | |

3. 事業内容

(1) 個別支援計画

少なくとも 6 か月に 1 回はモニタリング・再アセスメントを行い、適宜計画の変更を行うと共に、緊急対応確認シートの内容、各利用者・保護者のニーズを確認して、より良いサービスが提供できるよう努めました。

(2) 日中活動の内容

- ア 歩行（コロニー外周・焼山公園・農村公園・第二養和荘外周・養和荘グランド）
- イ 運動（ラジオ体操、ストレッチ体操、リハビリ・ハビリ運動等）
- ウ 軽作業・創作活動（絵画、貼り絵・塗り絵・クレヨンアート等）
- エ ボランティア講師による活動（茶道：抹茶、煎茶）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアさんの受け入れを制限し 7 月 2 回実施しました。

オ 職員による文化的活動（煎茶、書道、お手玉）

カ レクリエーション（各種ゲーム等）

キ 入浴（希望者）

（3）健康管理

看護師による月1回の体重・血圧測定（高血圧の方は週一回）を実施し各家庭に報告しました。服薬や受診等の個別の健康状態については、緊急対応確認シートを活用し送迎時の家庭からの聞き取りにより利用者の現状把握に努めました。

健康診断は5月14日（名古屋公衆医学研究所来所）、インフルエンザ予防接種は11月17日（勝川医院来所）に実施しました。インフルエンザ罹患者はいませんでした。また、コロナウイルス感染症対策として、検温、手指消毒、手洗い、事業所・送迎車両内の消毒・換気を励行しました。

歯科検診は養和荘歯科検診室にて、年2回行いました。

（4）ボランティア

前年度3月からは新型コロナウイルス感染拡大防止のため受け入れを停止したが、感染状況が抑えられた7月1日～7月26日に限り受け入れ、延べ14名のボランティアが活動しました。

（5）年間行事

行事は下記のとおり実施しました。

外出等は新型コロナ感染拡大防止のため、人混みを避け予定していた内容を変更しました。

*行事

| | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 8月24日 | 夏のつどい | 10月28日 | ハロウィン祭 |
| 12月25日 | クリスマス会 | 1月15日 | 新年のつどい |
| 2月3日 | 節分会 | | |

*短時間外出

| | | | |
|-------|-----------|-------|-----------|
| 9月28日 | 四季の森、朝宮公園 | 9月30日 | あい農パーク春日井 |
| | | 10月1日 | 〃 |
| | | 10月2日 | 〃 |

*小グループ外出

| | | | |
|--------|---------|--------|----------|
| 10月14日 | モリコロパーク | 10月19日 | みのかも健康の森 |
| 10月22日 | 瑞浪市民公園 | 10月30日 | 瑞浪市民公園 |

4. 学生実習

名古屋学院大学9月28日～11月13日に各5日間、12名が教員免許取得のための介護等体験を受け入れました。

地域活動支援センター（春日井市事業：土曜日・日曜日）

1. 利用実績（令和3年3月末日現在の利用契約者数 70名）

| 年度 | 定員 | 開所日数 | 利用状況 | | |
|-------|-----|------|--------|--------|----------|
| | | | 延利用者数 | 利用率 | 1日平均利用者数 |
| 令和2年度 | 29名 | 102日 | 2,027名 | 68.52% | 19.87名 |
| 令和元年度 | 29名 | 103日 | 2,172名 | 72.71% | 21.08名 |
| 前年度比 | | | 93.32% | | |

2. 利用者状況

利用開始者1名（7月1名）

利用終了者6名（5月1名、8月2名、11月1名、3月2名）

3. 事業内容

ストレッチ体操・レクリエーション（フライングディスク、輪投げ、ポケネット、DVD鑑賞等）、おやつ作り等の余暇活動を実施しました。

全体

1. 給食

キッチン高森と給食提供業務委託契約を締結して、キッチン高森分場より給食提供しました。栄養士との給食会議で利用者状況を共有し、栄養バランスや嗜好を考慮した季節感を感じられる献立作りや、利用者個々のニーズに合った食事形態やカロリー制限での提供に努めました。

2. 送迎

各家庭等と事業所間を車両による送迎を実施しました。運転手は乗務前点呼（呼気検査体調・運転免許証の確認）を実施し安全運転に努めました。

3. 防災・防犯

地震から火災、風水害、不審者対応を想定した訓練を下記のように実施しました。また、非常食は3食分を備蓄しています。

| | | |
|-------|----------------|------------|
| 6月5日 | 風水害にかかる避難訓練 | 生活介護 |
| 6月13日 | 地震、火災を想定した避難訓練 | 地域活動支援センター |
| 6月14日 | 地震、火災を想定した避難訓練 | 地域活動支援センター |
| 6月20日 | 地震、火災を想定した避難訓練 | 地域活動支援センター |
| 6月21日 | 地震、火災を想定した避難訓練 | 地域活動支援センター |
| 8月12日 | 不審者対応訓練 | 生活介護 |
| 9月1日 | 地震、火災を想定した避難訓練 | 生活介護 |
| 10月8日 | 地震、火災を想定した避難訓練 | 生活介護 |
| 12月1日 | 風水害にかかる避難訓練 | 生活介護 |

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 なかぎりワークス）

就労継続支援B型事業の定員 48 名、契約利用者 49 名で事業実施しました。
事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 利用者の状況

| 定員 | 開所日数 | 年度 | 利用状況 | | |
|-----|------|------|---------|--------|-----------|
| | | | 延利用者数 | 利用率 | 1日の平均利用者数 |
| 48名 | 257日 | 2年度 | 11,772名 | 95.42% | 45.80名 |
| 48名 | 272日 | 元年度 | 11,655名 | 89.26% | 42.84名 |
| | | 前年度比 | 101.00% | | |

*開所日数は、販売日による一部開所も含む日数

利用開始・終了

| 利用開始 | | 利用終了 |
|------|------------------|------|
| 人数 | 備考 | |
| 1名 | 在宅（養和荘厨房短時間就労）より | なし |

2. 生産活動

(1) 農作物事業

自然栽培（無肥料・無農薬）から慣行農法への切替により作物の生育が良くなり収穫の見通しが立つようになったが、もともと販売単価が低いうえに新型コロナウイルス対策による外食産業の営業自粛などで市場の商品がダブつき気味になり低価格で販売せざるを得ず収入増にはつながりませんでした。

| | 水菜調整受注 | 野菜販売（うちカスイ水菜販売） | 業務受注 | 合計 |
|-------|------------|-------------------|---------|------------|
| 令和2年度 | 1,185,840円 | 264,477円（62,520円） | 0円 | 1,450,317円 |
| 令和元年度 | 1,445,940円 | 553,860円（81,700円） | 30,000円 | 2,029,800円 |
| 前年度比 | 82.01% | 47.75%（76.52%） | 0% | 71.45% |

(2) パン事業

6月までは新型コロナウイルス感染症の警戒により、学校・施設関係の販売中止、またその後も恒例イベントの中止により、販売の機会が減少したため、収入が落ち込みましたが、菓子類等贈答品の注文販売、SNSによる情報発信での商品紹介など、対面販売以外にも販路を拡大する工夫をしました。

| | 納品・店内販売 | 元気ショップ | イベント | 合計 |
|-------|------------|------------|----------|-------------|
| 令和2年度 | 6,646,360円 | 4,115,390円 | 0円 | 10,761,750円 |
| 令和元年度 | 6,337,011円 | 5,641,930円 | 432,820円 | 12,411,761円 |
| 前年度比 | 104.88% | 72.94% | 0% | 86.70% |

(3) 製品受注事業

市内及び隣接する地域の企業 9 社から製品加工の受注を行いました。うち 3 社は今年度から受注を開始しました。作業の難易度、納期等を考慮して受注量を管理すると共に、利用者の適性に合わせて作業提供を行いました。

| | | |
|---------|-------------|---|
| 令和 2 年度 | 1,778,032 円 | エルスタット、梱包屋、内職市場、京都キデイ、 錦工業、正徳産業、ハートコープ愛知 (TUTTI 経由) 三晃商会、ケイティケイ |
| 令和元年度 | 960,522 円 | |
| 前年度比 | 185.11% | |

(4) 利用者工賃

総収入額は前年度に達しませんでした。コロナ禍で収入が減少したため平均工賃額は減少となりました。

| | 作業総収入額 | 工賃総支払額 | 支払延人数 | 平均工賃月額 |
|---------|--------------|-------------|--------|------------|
| 令和 2 年度 | 13,990,099 円 | 6,642,324 円 | 588 名 | 11,296 円/月 |
| 令和元年度 | 15,402,083 円 | 7,153,588 円 | 596 名 | 12,002 円/月 |
| 前年度比 | 90.83% | 92.85% | 98.65% | 94.11% |

3. その他

(1) 個別支援計画

計画に沿った支援を行うと共に、6 か月毎にモニタリングし、利用者・保護者の意見・要望を聴き取りつつ、次期計画につなげるようにしました。

(2) 健康管理

利用者の健康管理を、下記のとおり行いました。

| | |
|-----------|------------------------|
| 5 月 18 日 | 利用者健康診断 (名古屋公衆医学研究所来所) |
| 11 月 20 日 | インフルエンザ予防接種 (勝川医院来所) |

毎年度行っているナゴノ福祉歯科医療専門学校による歯科検診及び歯磨き指導は、新型コロナウイルス感染症予防のため中止しました。

(3) 給食

業者委託による給食提供を行いました。委託先の栄養士が定期的に来所し、利用者からの意見・要望を聴き取り、献立に反映しました。

(4) 通所支援

マイクロバスと 8 人乗り送迎車両にて、春日井駅・八光公園、勝川駅の送迎、また、高蔵寺方面の利用者及び一部グループホーム利用者の送迎を実施しました。32 名の利用者が送迎サービスを利用しました。

(5) 行事

新型コロナウイルス感染予防対策として、保護者・地域等の外来者の来所は見合わせ、規模を縮小して実施しました。外出行事も、事業所内での行事に振り替えました。

| | |
|--------|--------------------|
| 7月7日 | 七夕を楽しむ会（なかぎりワークス内） |
| 11月3日 | げんきまつり（なかぎりワークス内） |
| 12月21日 | クリスマス会（なかぎりワークス内） |
| 1月11日 | 新年会（なかぎりワークス内） |
| 3月 | 茶話会（小グループで10回実施） |

(6) 本人会支援

利用者のエンパワメントを高める機会として、毎月本人会（せいかつ集会）を開催し、意見発表の場を設けると共に、委員会活動などが主体的に進められるよう、見守り・助言を行いました。

(7) 地域交流・地域貢献

例年参加していた春日井まつりどっこいせパレードは中止となったため、参加できませんでした。

地域貢献活動としては、庄内川河川敷清掃及び本人会活動による地域美化（ゴミ拾い）活動を、小グループ単位で実施しました。

(8) 防災・防犯

防災及び防犯の訓練は下記のとおり実施しました。

| | |
|-------|-------------------------|
| 4月24日 | 防災・防犯オリエンテーション |
| 7月30日 | 水害避難訓練 |
| 9月1日 | 法人総合防災訓練（地震・火災想定での避難訓練） |
| 3月25日 | 火災想定通報・避難訓練 |

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 わかば）

事業所の利用定員は、40名と変わりなく、生活介護事業（定員10名）と就労継続支援B型事業（定員30名）を実施しました。両事業とも適切な環境のもとに支援を行いました。

なお、生活介護事業は自立訓練事業の令和3年度開始に伴い年度末で廃止としました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 生活介護事業

(1) 利用者状況

ア 契約利用者数 8名

| 年度 | 定員 | 開所日数 | 延利用者数 | 利用率 | 1日平均利用者数 |
|-------|-----|------|--------|--------|----------|
| 令和2年度 | 10名 | 257日 | 2,151名 | 83.69% | 8.36名 |
| 令和元年度 | 10名 | 257日 | 2,486名 | 96.73% | 9.67名 |
| 前年度比 | | | 86.52% | | |

イ 利用開始・利用終了

| 利用開始 | | 利用終了 | |
|------|------|------|--------------|
| 1名 | 在宅より | 8名 | 他事業所へ |
| | | 3名 | 利用事業変更（就労Bへ） |

(2) 支援状況

ア 週間スケジュール

下記の週間スケジュールを基本として活動しました。運動内容については、昨年度と同様に利用者の年齢差を考慮した内容としました。

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|------|----------|------|----------|------|
| 午前 | 歩行 | 歩行（車両） | 歩行 | 歩行 | ドライブ |
| 午後 | 創作活動 | レクリエーション | 創作活動 | レクリエーション | 創作活動 |

イ 支援内容

| 活動項目 | 内容 |
|----------|---|
| 創作活動 | 貼り絵を熱心に行い、生活介護メンバーの似顔絵や、季節を感じられる内容の作品づくりに取り組みました。また、「アールブリュット展」や、春日井市役所での「障がい者団体等作品展」出展に向けニードルパンチング、貼り絵、絵画、手織り、俳句等の制作を行い出展し、会場まで足を運び鑑賞も行いました。 |
| 歩行・運動 | 近隣の公園への散歩は、体力面等を考慮し複数に分けて出掛けました。行先に応じてドライブも交えて出掛けるなどし、楽しみながら行いました。 |
| レクリエーション | カラオケ、ダーツ、輪投げ、室内サッカー、ボーリング、DVD観賞等を行い、余暇時間の充実を図りました。 |
| ドライブ | 近郊の公園（植物園、定光寺公園、道の駅等）に公用車で出掛け、車窓の風景や現地での散策、動物鑑賞等により、気分転換を図ることができるようになりました。 |
| その他 | 夏祭りでは縁日体験、ハロウィンの行事では仮装、3月にはひなまつりのお菓子を作り、それぞれ皆で楽しみました。 |

2. 就労継続支援 B 型事業

(1) 利用者状況

ア 契約利用者数 29 名

| 年度 | 定員 | 開所日数 | 延利用者数 | 利用率 | 1 日平均利用者数 |
|---------|------|-------|---------|--------|-----------|
| 令和 2 年度 | 30 名 | 258 日 | 6,538 名 | 84.47% | 25.34 名 |
| 令和元年度 | 30 名 | 259 日 | 6,738 名 | 86.71% | 26.01 名 |
| 対前年比 | | | 97.03% | | |

イ 利用開始・利用終了

| 利用開始 | | 利用終了 | |
|------|--------|------|-------|
| 2 名 | 在宅より | 4 名 | 他事業所へ |
| 2 名 | 他事業所より | | |

(2) 支援状況

ア クリーニング作業

入所施設（養楽荘・はるひ荘）からの洗濯物受注を基幹作業とし、中日本リネンから布団類のクリーニング、また、東洋から美容室等のタオルクリーニング受注も行いました。その他、不定期ではありますが、じゅうたんやカーテン等クリーニングの依頼も受け、実施することが出来ました。

イ 内職作業

レンタル DVD ケース磨き等の作業、気泡緩衝材の切断・仕分け・梱包作業、キューマスク（人工呼吸時に使用するマスク）ケース詰め作業等、様々な作業を実施することが出来ました。

ウ 分場作業

4 月より新たに稼働を開始し、入所施設（養和荘・第二養和荘）からの洗濯物受注を基幹作業とし、実施しました。また、毛染め説明書袋詰め作業、ペーパーナフキン・ポケットティッシュの袋詰め作業等、一部内職作業も受注・実施する等、分場での作業を軌道に乗せることが出来ました。

(3) 利用者工賃の状況

コロナ過における一時作業受注数の減少等も見られましたが、新規取引業者の開拓を行う等した結果、総収入が上がり利用者工賃の向上にもつなげることが出来ました。

| 年度 | 総収入額 | 経費総額 | 工賃総支払額 | 工賃支払 延利用者数 | 月 額 平均工賃 |
|---------|--------------|-------------|-------------|---------------|-------------|
| 令和 2 年度 | 12,361,280 円 | 6,435,963 円 | 5,925,317 円 | 337 名 | 17,582 円 |
| 令和元年度 | 10,676,437 円 | 4,982,818 円 | 5,693,619 円 | 336 名 | 16,945 円 |
| 対前年比 | 115.78% | 129.16% | 104.06% | 100.29% | 103.75% |

3. 共通事項

(1) 個別支援計画

計画担当者 4 名を中心とし、計画内容に沿った適切なサービスを提供しました。また、保護者・利用者のニーズを聴き取り、計画内容を 6 か月毎に見直し、次期計画につなげるようにしました。

(2) 健康管理

緊急対応確認シートを見直すと共に、利用者健康診断・インフルエンザ予防接種を実施しました。また、看護師による体重測定等を通し、健康への意識付けを図りました。

今年度は新型コロナウイルス感染防止対策として日々の検温実施、マスクの常時着用、適宜の手洗い・消毒の励行を呼びかけ習慣化してきたこともあり、感染者が出ませんでした。また、インフルエンザ罹患者もなく無事に終わることが出来ました。

(3) 給食

キッチン高森に委託し、日々の食事提供を行って来ました。利用者の誕生日に「誕生日デザート」を提供すると共に、利用者の意見を伝え、美味しい食事の提供に努めました。

(4) 行事

以下の行事を実施しました。食事会等については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から密を避け、小グループ毎での会食に努めました。

| | | |
|-------------|------------|---------------------------|
| 4月5日 | お花見 | おやつ会（事業所内） |
| 8月28日 | スイカ割り | おやつ会を兼ねて実施（事業所内） |
| 10月21日 | グループ外出（1班） | 愛・地球博記念公園（園内散策等） |
| 10月22日 | グループ外出（2班） | 愛・地球博記念公園（園内散策等） |
| 10月29日 | グループ外出（3班） | 愛・地球博記念公園（園内散策等） |
| 12月23日 | クリスマス会 | 昼食を兼ねて実施（事業所内） |
| 1月8日 15日 | 餅つき | 8日に餅つき、15日におやつとして提供（事業所内） |
| 2月2日 | 節分会 | 豆まき等（事業所内） |
| 2月5日 | 親睦会 | 昼食会（事業所内） |
| 3月3日 | 桃の節句 | お菓子づくり、会食（事業所内） |
| 3月5日 | 慰労会 | 一年の振り返りを兼ねた昼食会（事業所内） |

(5) 環境整備

9月30日に専門業者による殺虫対策を実施しました。

(6) 防災・防犯

毎月避難訓練を実施し、平均5分07秒（昨年度平均6分）と、昨年度より避難完了までの時間を短縮することが出来ました。また、分場でも訓練を行い、こちらは平均2分03秒での避難と、特別問題なく避難出来ることを確認しました。その他、昨年同様職員に対する防災関連のミニテストも実施、総合防災訓練時には非常食の運び出し訓練等も実施しました。

防犯については、コロナ禍で正面玄関での来館者名簿記載を促してはいるものの、時折無断でトイレを使用しようとする等、建物内部に入って来ようとする方が見られることもあり、スタッフ会議にて不審者の対応方法を改めて伝え、防犯教育としました。

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 さいおワークス）

西尾町と坂下町の2事業所において、事業を実施いたしました。

西尾では、就労継続支援B型事業（定員20名）、土・日曜日の地域活動支援センター事業（定員13名）を実施しました。

坂下では、就労移行支援事業（定員8名）を実施しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 利用者の状況

(1) 就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業

利用状況は以下のとおりです。

| | 定員 | 開所日数 | 年度 | 利用状況 | | |
|------------|-----|------|-------|--------|--------|----------|
| | | | | 延利用者数 | 利用率 | 1日平均利用者数 |
| 就労移行 | 8名 | 257日 | 令和2年度 | 1,523名 | 74.07% | 5.92名 |
| | 8名 | 257日 | 令和元年度 | 1,754名 | 85.31% | 6.82名 |
| | | | 前年度比 | 86.83% | | |
| 就労継続 B型 | 20名 | 257日 | 令和2年度 | 4,652名 | 90.50% | 18.10名 |
| | 20名 | 257日 | 令和元年度 | 4,973名 | 96.75% | 19.35名 |
| | | | 前年度比 | 93.54% | | |

入退所状況は以下のとおりです。

| | 利用開始 | | 利用終了 | |
|--------|------|------|----------------|---------------------------------|
| 就労移行 | 11名 | 在宅より | 4名 1名 4名 | 一般就労へ 就労継続B型へ その他（在宅、入院等） |
| 就労継続B型 | 0名 | — | 1名 1名 1名 | 施設入所へ 一般就労（農業）へ 在宅へ |

(2) 地域活動支援センター事業

利用状況は以下のとおりです。

| 定員 | 開所日数 | 年度 | 利用状況 | | |
|-----|------|-------|---------|--------|----------|
| | | | 延利用者数 | 利用率 | 1日平均利用者数 |
| 13名 | 102日 | 令和2年度 | 889名 | 67.04% | 8.71名 |
| 13名 | 103日 | 令和元年度 | 852名 | 63.62% | 8.27名 |
| | | 前年度比 | 104.34% | | |

新型コロナウイルスの影響を含め、利用者の欠席があったことや新規利用者がありませんでした。利用率は微増しました。

2. 作業収入・工賃の状況は以下のとおりです。

【就労継続 B 型】

| 年度 | 総収入額 | 総経費額 | 工賃総支給額 | 延利用者数 | 平均工賃月額 |
|---------|-------------|----------|-------------|--------|----------|
| 令和 2 年度 | 3,167,918 円 | 23,735 円 | 3,144,183 円 | 236 名 | 13,322 円 |
| 令和元年度 | 3,116,051 円 | 20,736 円 | 3,095,315 円 | 249 名 | 12,430 円 |
| 前年度比 | 101.66% | 114.46% | 101.57% | 94.77% | 107.17% |

新型コロナウイルスの影響が幾つかの作業種でありましたが、作業が切れてしまうということはありませんでした。

【就労移行支援】

| 年度 | 総収入額 | 総経費額 | 工賃総支給額 | 延利用者数 | 平均工賃月額 |
|---------|-----------|---------|-----------|--------|---------|
| 令和 2 年度 | 262,290 円 | 1,080 円 | 261,210 円 | 96 名 | 2,720 円 |
| 令和元年度 | 334,368 円 | 0 円 | 334,368 円 | 98 名 | 3,411 円 |
| 前年度比 | 78.19% | | 78.12% | 97.95% | 79.74% |

工賃は利用者の作業・訓練へのモチベーションアップにもつながっているため、安定的に作業を受注することが課題となっています。

3. 支援体制

利用者個々のニーズを基にした個別支援計画に沿って、就労移行支援事業では一般就労及び就労定着を目指して、事業所内での訓練や職場体験・実習、職場定着支援を行い、就労継続支援 B 型事業では施設内での受注作業や施設外就労を通し、働く喜びや達成感が得られるよう支援しました。

具体的な内容については以下のとおりです。

(1) 日中活動、訓練

| | | |
|----------------------------|-------------|--|
| 就 労 移 行 支 援 | 事業所内 訓練 | 事務系作業（パソコン作業、作業日報、物品請求書、数値チェック）、製造及びサービスに関する作業（計量、組立、物流ピッキング、ラップ掛け）、JST（職場対人技能トレーニング）を行いました。また、キューマスク袋詰め、DPD 錠剤袋詰め等の受注作業も行い、工賃を受け取ることにより働く喜びと、適度な緊張を感じながら作業を行いました。 |
| | 就職活動 | 求人票の見方、履歴書や職務経歴書の作成、模擬面接を行なうなど、就職に向けての意識を高めるようにしました。また、企業説明会や面接にも付き添い、就職活動を行いました。 |
| | 職場体験、 実習 | 一般就労や A 型事業所の利用に向けて、事前見学や面談を行い、職場体験や実習に臨みました。 |
| | 職場定着 | 一般就労した方については、就職後 6 か月間、就労先を訪問し、本人や企業の担当者から聞き取りを行い調整・助言を行いました。また、家族からの相談にも対応しました。 |
| 就 労 | 受託作業 | 協力会社 5 社より作業を受注し、毛染め用品のセット、梱包、ビニールロープの樹脂リングの取付け、キューマスクの袋詰め、気泡緩衝材梱包作業等を中心に取り組みました。 |

| | | |
|------|--------|---|
| 継続B型 | 施設外就労 | ゲオ店舗清掃業務（8回／月、利用者3名支援員1名で編成）実施。 春日井市委託：内津公衆便所清掃（2回／週、利用者2名支援員1名で編成）で実施しました。 |
| 地域活動 | 余暇活動 | 身近なものを使った工作、カレンダー作り等の創作活動。散歩などの運動。カラオケ等の音楽を用いた活動。その他、ドライブ、DVD鑑賞、花見等で余暇支援を行いました。 |
| | 調理実習 | 買物に出かけ食材を購入して、昼食やおやつ作りを行いました。 |
| | 公共施設利用 | 坂下公民館の図書室へ出掛けて読書をしました。 |

(2) 主な行事等

| | | |
|----------------|----------------------|------------|
| 7月24日 11月3日 | バーベキュー | さいおワークス |
| 5月5日 11月23日 | お茶会 | さいおワークス |
| | 秋の行楽（B型） 秋の行楽（移行） | コロナ対策の為、中止 |
| | 西尾小学校交流会 | コロナ対策の為、中止 |
| 12月25日 | クリスマス会 | さいおワークス |
| 1月11日 | 新年会（もちつき） | さいおワークス |

(3) 健康管理

| | | | |
|-------|------|--------|-------------|
| 5月14日 | 健康診断 | 11月26日 | インフルエンザ予防接種 |
|-------|------|--------|-------------|

毎月1回の血圧測定・体重測定を実施しました。手洗い、消毒、うがいを励行すると共に、マスクを着用し感染症の予防に努めました。新型コロナウイルスの感染者及びインフルエンザの罹患者はありませんでした。

(4) 給食

就労継続支援B型は、安心できる食材を使用した栄養バランスの良い「キッチン高森」のクックチル方式の食事を提供しました。

(5) 送迎

家庭と事業所、拠点間の送迎をしました。地域活動支援センターの送迎終了後の帰路で出合い頭の衝突事故があり、改善対応と交通安全指導を行っています。

4. 防災・防犯

火災、地震の災害が発生した場合に備え、利用者の安全確保を第一に考えて行動ができるように、避難誘導訓練等を次のとおり実施しました。

また、防犯マニュアルを策定し不審者の侵入に対する対応を職員に周知徹底しました。

| 月 日 | 訓 練 内 容 |
|-----------|-------------------------|
| 9月4日 | 日中想定地震火災避難誘導訓練（B型、就労移行） |
| 3月9日 | 日中想定地震火災避難誘導訓練（B型、就労移行） |
| 3月13日・14日 | 日中想定地震火災避難誘導訓練（地活） |

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 みずほ）

生活介護事業（定員 20 名）を実施しました。利用者の年齢層や障害の特性などが幅広くなっておりますので、個々のニーズをとらえながら安全・快適で充実した生活を送れるよう支援しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 利用者状況

(1) 利用実績

| 定員 | 開所日数 | 年度 | 利用状況 | | |
|-----|------|-------|--------|--------|-----------|
| | | | 延利用者数 | 利用率 | 1日の平均利用者数 |
| 20名 | 257日 | 令和2年度 | 4,833名 | 94.02% | 18.80名 |
| 20名 | 257日 | 平成元年度 | 4,881名 | 94.96% | 18.99名 |
| | | 前年度比 | 99.01% | | |

(2) 利用開始・終了

| 利用開始 | | 利用終了 | |
|------|-----------|------|-------|
| 1名 | わかば生活介護から | 1名 | 養和荘入所 |

2. 事業内容

(1) 支援内容

ア 個別支援計画

利用者・家族の意見・要望を聞き取りながら、支援内容の見直しを行いました。

イ 日中活動の内容

感染防止対策に留意しつつ、活動を通して心と体の健康を維持するとともに様々な体験ができるように支援しました。午前は生産活動として軽作業を行い、午後は運動レクリエーションなどで、活動にメリハリをつけ、利用者の気持ちの安定と充実を図りました。

(ア) 歩行（近隣の公園等への身体機能に合わせた歩行）

(イ) 運動（ラジオ体操、ストレッチ、ダンス、フライングディスク等）

(ウ) 生産活動（毛染め用の手袋・櫛・説明書のセット及びレンタルビデオのケースクリーニングの軽作業）

生産活動の収入は、本人支給金として分配しました。

| | 令和2年度 | 平成元年度 | 前年度比 |
|-----------------|----------|----------|---------|
| 作業収入 | 266,443円 | 248,473円 | 107.23% |
| 本人支給金（収入－振込手数料） | 260,454円 | | |
| 支給人数（延べ） | 253人 | 249人 | 101.60% |
| 平均支給額（月） | 1,029円 | 997円 | 103.20% |

- (エ) 創作活動（絵画、手芸、工作等）
- (オ) 園芸（草花の栽培等）
- (カ) 音楽（歌、楽器演奏等）
- (キ) レクリエーション（ゲーム、カラオケ、DVD鑑賞、季節に合わせた行事等）
- (ク) 社会参加（公園清掃、公共施設の利用、買物、外出等。公共交通機関利用は感染予防のため見合わせました。）

ウ 健康管理

日常的に保護者等と情報共有しました。健康診断等は、下記のように行いました。また、手洗い、消毒、室内の換気など感染症予防対策は重点的に行いました。

| | | |
|---------|-------------|------------|
| 毎月第1水曜日 | 体重・血圧測定 | みずほ看護師 |
| 5月13日 | 利用者健康診断 | 名古屋公衆医学研究所 |
| 11月11日 | インフルエンザ予防接種 | 勝川医院の往診 |
| 5月・12月 | 歯科検診 | 養和荘歯科検診室 |

(2) 年間行事

誕生会や季節を感じられる行事を行いました。外出等の行事は、コロナ禍により、時期や方法を変更して下記のように実施しました。

| | | |
|----------------------|--------|--|
| 9月30日 | 行楽 | モリコロパーク内の散策。昼食はお弁当を持参。 |
| 10月14日 15日 16日 | グループ外出 | 利用者の希望で名古屋港水族館・東山動物園・デンパークに出かける。昼食はテイクアウトして屋外で食べる。 |
| 11月4日 | バーベキュー | 四季の森にて、コンロ3台に分散して実施 |
| 3月17日 | みずほの集い | 福祉の里で食事とゲーム等。保護者は不参加 |

3. その他のサービス内容

(1) 給食

宅配の食材により、事業所内で調理して食事提供をしました。

(2) 送迎

4ルートで自宅と事業所間の送迎を実施しました。短期入所利用時は、宿泊先への送迎も行いました。

(3) 防災

下記のように訓練を行いました。

| | | |
|-------|---------------|-----------------------------------|
| 6月1日 | 避難訓練（火災想定） | 緊急避難場所（天王公園）まで避難 緊急脱出シューター使用体験 |
| 9月2日 | 避難訓練（地震・火災想定） | 緊急避難場所（天王公園）まで避難 |
| 4月・2月 | 災害用伝言ダイヤル体験利用 | 災害時の保護者との連絡方法の訓練・確認 |

事業報告附属明細書（障害者支援施設 養楽荘）

施設入所支援事業（定員 40 名）、生活介護事業（定員 40 名）及び短期入所事業（定員女性 5 名）のサービス提供をしました。施設入所利用者の平均年齢は、51.2 歳（男性：48.4 歳、女性：55.5 歳）、平均障害支援区分は 5.5（男性：5.6、女性：5.3）と徐々に上がってきている状況の為、利用者の ADL に合わせた適切な支援を行ってきました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 利用者状況

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、外出や外泊、面会など外部との接触を極力控える対応を行った結果、入所利用者の利用率は微増しています。また、短期入所については、3 名の方が長期間利用したこともあり、コロナ禍にも関わらず、利用率は大幅に増えました。

| | 定員 | 年度 | 開所日数 | 延利用者 | 利用率 | 1日平均利用者数 |
|------|------|---------|-------|----------|--------|----------|
| 生活介護 | 40 名 | 令和 2 年度 | 269 日 | 10,669 名 | 99.15% | 39.66 名 |
| | | 令和元年度 | 270 日 | 10,677 名 | 98.86% | 39.54 名 |
| 施設入所 | 40 名 | 令和 2 年度 | 365 日 | 14,463 名 | 99.06% | 39.62 名 |
| | | 令和元年度 | 366 日 | 14,197 名 | 96.97% | 38.78 名 |
| 短期入所 | 5 名 | 令和 2 年度 | 365 日 | 944 名 | 51.72% | 2.58 名 |
| | | 令和元年度 | 366 日 | 742 名 | 40.54% | 2.02 名 |

2. 利用者の入退所状況

| 入 所 | | | 退 所 | | |
|-----------|-----|--------|-----------|-----|--------|
| 月日 | 人数 | 備考 | 月日 | 人数 | 備考 |
| 8 月 3 日 | 1 名 | 在宅より | 7 月 18 日 | 1 名 | 死亡 |
| 12 月 1 日 | 1 名 | はるひ荘より | 11 月 17 日 | 1 名 | 第二養和荘へ |
| 12 月 28 日 | 1 名 | 在宅より | 11 月 30 日 | 1 名 | 第二養和荘へ |

3. 利用者支援

(1) 日中活動

10 月に利用者の希望、障害特性等に見合った活動班の見直しを行っています。また、午前の活動（音楽療法班・理学療法班・山歩行班・スノーズレン班）のプログラムを作成したことで、さらなる統一化を図ることができるようになりました。午後の活動については、以下のとおりになります。

| 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|--------|---------|--------|--------|--------|
| 音楽活動 | ジョイサウンド | リハビリ | 園芸 | 工作 |
| 自立支援課題 | 自立支援課題 | 自立支援課題 | 自立支援課題 | 自立支援課題 |

(2) 行事

| 日 付 | 行 事 名 |
|--------|---------------------|
| 6月11日 | 駄菓子屋体験 |
| 7月7日 | 七夕会 |
| 8月20日 | 夏祭り |
| 10月22日 | 春の行楽の代替え行事（鮎の掴み取り等） |
| 11月19日 | 焼き芋大会 |
| 12月24日 | クリスマス会 |
| 12月25日 | 餅つき |
| 12月31日 | 忘年会 |
| 1月7日 | 調理実習 |
| 1月12日 | 新年会 |
| 2月3日 | 節分 |
| 3月29日 | 花見 |

*その他、小グループでの外食・テイクアウトを実施。

*外出・招待行事については新型コロナウイルスの影響により中止。

4. 健康管理

入院となる利用者が4名あり、内2名が手術を行っています。新型コロナウイルス・インフルエンザの罹患者はありませんでした。

定期健診・予防接種

| 月 日 | 内 容 | 機関名 |
|--------|-----------------------|------------|
| 5月21日 | 健康診断（採血・採尿・血圧・心電図） | 名古屋公衆医学研究所 |
| 9月29日 | 健康診断（採血・採尿・血圧・胸部 X・P） | |
| 10月26日 | インフルエンザ予防接種 | 田島クリニック |

往診等

| 頻 度 | 内 容 | 機関名 |
|---------|-----------|------------|
| 毎月1回 | 健康相談等 | 沖医師 |
| 3～5週に1回 | 内科医による診察 | 田島クリニック |
| 3～5週に1回 | 精神科医による診察 | あさひが丘ホスピタル |

5. 給食

キッチン高森に委託し、管理栄養士、看護師、現場スタッフの連携のもと、食事対応（カロリー、食事形態など）を適宜変更してきました。温冷配膳車から一般的な配膳車に変更となりましたが、適温での食事提供ができるよう努めてきました。

6. 入浴

週に4日、一般浴と機械浴（男性4名）に分かれて入浴を実施しました。シャワー浴については、夏の運動後に実施する等、快適な生活を送ることが出来るよう支援してきました。また、秋にはゆず湯風呂などを通し、季節感を味わえる工夫もしてきました。

7. 環境整備

日常的な清掃に関しては、日々の業務の中で対応していますが、新型コロナウイルス感染防止対策として、換気やドアノブなどの消毒を定期的に行ってきました。また、窓や扉など業者修理となるものもありましたが、軽微なものであれば、職員で行うなど利用者の生活に支障が出ないように迅速に対応してきました。

8. 学生実習

新型コロナウイルスの影響で警察学校も含め、学生実習は軒並み中止となりました。そういった中においても、社会福祉学習の一環として、アリアーレビューティー専門学校の学生に対しては、感染防止対策を徹底した上で車いすの使用方法や障害者福祉に関する講義などを実施しました。

9. 防災・防犯

防災訓練は以下の表のとおり実施してきました。

防犯訓練については、新人オリエンテーションで「さすまた」の使用方法等の研修を実施しました。

防災訓練・防災教育一覧

| 月 日 | 訓練・教育内容 |
|--------|---------------------------------------|
| 5月28日 | 夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練 |
| 6月18日 | 夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練 |
| 7月 | コロナ対応により中止 |
| 8月25日 | 防災教育（避難経路の確認等） |
| 9月1日 | 法人総合防災訓練。日中の地震から火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練 |
| 10月15日 | 夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練 |
| 11月18日 | 夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練（職員増員対応） |
| 12月22日 | 防災教育（非常時の対応について） |
| 1月15日 | 職員・保護者を対象とした171訓練（非常用伝言ダイヤル） |
| 2月19日 | 風水害訓練（日中想定） |
| 3月16日 | 風水害訓練（夜間想定） |

事業報告明細書（障害福祉サービス事業所 キッチン高森）

就労継続支援A型事業所（定員 20 名）として厨房業務を行っています。

障害者支援施設養楽荘・はるひ荘利用者及び障害福祉サービス事業所わかば利用者等への給食提供並びにさいおワークス利用者への食材提供を行うと共に、令和 3 年 4 月からは新たに開設したキッチン高森分場において、障害者支援施設養和荘、第二養和荘及びはさま利用者等への給食提供を行いました。また、第二希望の家利用者への弁当販売及び職員を対象とした惣菜販売を実施いたしました。

また、令和 2 年度より管理栄養士を目指す大学生を対象に現場実地研修の受入を実施しています。

キッチン高森利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、雇用の機会を提供すると共に、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を実施しました。

事業実績につきましては、次のとおりです。

1. 利用者状況

| 年 度 | 定 員 | 開所日数 | 利用状況 | | |
|---------|------|-------|---------|--------|-----------|
| | | | 延べ利用者数 | 利用率 | 1 日平均利用者数 |
| 令和 2 年度 | 20 名 | 365 日 | 3,563 名 | 48.80% | 9.76 名 |
| 令和元年度 | 15 名 | 366 日 | 3,274 名 | 59.63% | 8.94 名 |
| 前年度比 | | | 108.82% | | |

利用者の動向

| 利用開始 | | 利用終了 |
|------|-------------|------|
| 1 名 | 春日台特別支援学校より | 1 名 |
| 1 名 | 一般就労より | |

2. 作業内容、営業時間及びサービス提供時間の状況

| | |
|----------|--|
| 作 業 内 容 | 利用者の適性に応じた作業内容とし、主調理を始め、盛付、配膳、下処理、洗浄作業等の業務を行います。 |
| 営 業 時 間 | 午前 6 時から午後 8 時間まで |
| サービス提供時間 | 午前 6 時から午後 8 時まで(このうち最大 8 時間) |

- (1) 朝食、昼食、夕食の 3 食を提供しているため、利用者の勤務時間はローテーションを組み実施しました。
- (2) エビ及びさばアレルギー食利用者には、代替食を提供すると共に、誤食がないよう確認作業を実施しました。

3. 給食等の提供状況

(1) 給食の提供

| 提 供 先 | 提供者区分 | 年間提供食数 | | |
|--------------------------------|-------|----------|----------|---------|
| | | 令和2年度 | 令和元年度 | 前年度比 |
| 養楽荘 (朝食・昼食・夕食) | 施設入所者 | 43,096食 | 42,036食 | 102.52% |
| | 短期入所者 | 2,167食 | 1,491食 | 145.33% |
| はるひ荘 (朝食・昼食・夕食) | 施設入所者 | 43,039食 | 43,434食 | 99.09% |
| | 短期入所者 | 5,185食 | 5,347食 | 96.97% |
| 養和荘 (朝食・昼食・夕食) | 施設入所者 | 81,160食 | 令和2年度～ | — |
| | 短期入所者 | 3,102食 | 令和2年度～ | — |
| 第二養和荘 (朝食・昼食・夕食) | 施設入所者 | 40,676食 | 令和2年度～ | — |
| | 短期入所者 | 1,737食 | 令和2年度～ | — |
| さいおワークス(昼食) | 通所利用者 | 4,695食 | 4,952食 | 94.81% |
| わかば(昼食) | 通所利用者 | 8,058食 | 8,843食 | 91.12% |
| はさま(昼食) | 通所利用者 | 11,144食 | 令和2年度～ | — |
| 合 計 | | 244,059食 | 106,103食 | 230.02% |
| 養楽荘・はるひ荘・キッチン高森・養和荘等職員(スタッフ含む) | | 14,161食 | 8,999食 | 157.36% |
| ボランティア・さいお職員、実習生 | | 555食 | — | — |

(2) おやつ提供

| 提 供 先 | 提供者区分 | 年間提供食数 | | |
|-------|-------|--------|--------|---------|
| | | 令和2年度 | 令和元年度 | 前年度比 |
| 養楽荘 | 施設入所者 | 2,000食 | 1,899食 | 105.31% |
| はるひ荘 | 施設入所者 | 2,069食 | 2,234食 | 92.61% |
| 養和荘 | 施設入所者 | 3,766食 | 令和2年度～ | — |
| 第二養和荘 | 施設入所者 | 1,942食 | 令和2年度～ | — |

(3) 弁当の提供

| 提 供 先 | 提供者区分 | 年間提供食数 |
|--------|---------|--------|
| 第二希望の家 | 施設成人利用者 | 1,361食 |
| | 施設幼児利用者 | 146食 |
| | 希望の家職員 | 64食 |

(4) 惣菜販売(毎週金曜日)

| パック種類 | 販売数 |
|---------|------|
| 500円パック | 94個 |
| 200円パック | 938個 |
| 150円パック | 747個 |

4. 利用者への支援

(1) 個別支援

利用者のニーズ等を基に策定した個別支援計画に沿い、利用者個々の状況に合った支援を実施しました。

(2) 健康管理

利用者の日々の健康状況等の確認を行い、変調がある場合には保護者と連携を行い対処しました。また、年1回の定期健康診断を実施し、利用者の健康管理に努めました。

(3) 衛生管理

衛生管理の徹底を図るため、利用者及び作業所内の衛生管理事業を次のとおり実施しました。

| 実施項目 | | 実施状況 |
|------|----------------------|---------|
| 利用者 | 検便 | 毎月 |
| | ノロウイルス検査 | 10月から3月 |
| | 衛生講習会(外部) | 12月8日 |
| | 服装・身だしなみ・つめ・頭髪等の衛生点検 | 毎日 |
| | 手洗い講習 | 毎月 |
| 作業所 | 衛生検査(外部)及び講評 | 12月8日 |
| | 衛生検査(内部) | 毎月 |
| | 厨房害虫駆除(外部) | 毎月 |
| | グリストラップ清掃(外部) | 年4回 |
| | グリストラップかご清掃(内部) | 毎月 |

※ グリストラップ(油脂分離阻集器)ー水中の生ごみ・油脂などを直接下水道に流さないために、一時的にためておく設備で、そのまま放置しておく、悪臭や害虫の発生、食中毒の温床となる。

(4) 通所支援

勤務時間等を考慮し、公共交通機関による通所が困難な利用者に対して、拠点(JR高蔵寺駅)と事業所間の送迎を実施しました。 延べ利用者数：1,529人

5. 行事

利用者の教養娯楽事業については、新型コロナウイルス感染防止のため誕生日会等の行事は中止しました。

6. 防災・防犯

火災、地震の災害や犯罪等が発生した場合に備え、利用者の安全確保を第一に考えて行動等ができるように、ホイッスル、ヘルメット等を活用した避難誘導訓練等を次のとおり実施しました。

| 事業名 | 回数・実施日 |
|---------------------|------------------------|
| 防災・防犯訓練(消火、通報、避難誘導) | 年3回(6月18日、9月1日、10月15日) |
| 非常食備蓄 | 非常食・飲料水を3日分 |

7 施設実習

春日台特別支援学校、瀬戸つばき特別支援学校高等部生徒及びスタッフ希望者を対象に、次のとおり施設実習をしました。

| 実施時期 | 実習者 | 人数 |
|-----------------|------------------|----|
| 令和2年6月9日～6月11日 | スタッフ希望者 | 1名 |
| 令和2年10月12日 | 瀬戸つばき特別支援学校高等部3年 | 1名 |
| 令和3年1月25日～1月29日 | 春日台特別支援学校高等部2年 | 1名 |
| 令和3年1月25日～1月29日 | 春日台特別支援学校高等部2年 | 1名 |
| 令和3年3月8日～3月12日 | 瀬戸つばき特別支援学校高等部2年 | 1名 |
| 令和3年3月24日～3月26日 | スタッフ希望者 | 1名 |

8 大学生実習研修(管理栄養士資格取得のため)

大学からの要請に基づき、中部大学学生及び金城大学学生を対象に実習研修を行いました。

| 実施時期 | 実習者 | 人数 |
|-------------------|--------|----|
| 令和2年9月14日～9月18日 | 金城大学学生 | 2名 |
| 令和2年10月19日～10月23日 | 中部大学学生 | 3名 |
| 令和2年11月16日～11月20日 | 中部大学学生 | 2名 |
| 令和3年3月15日～3月19日 | 金城大学学生 | 2名 |

事業報告附属明細書（障害者支援施設 はるひ荘）

施設入所支援事業（定員 40 名）、生活介護事業（定員 40 名）短期入所事業（定員 5 名）でサービス提供をしました。開所して 4 年目となり、利用者の日常生活が落ち着き、生活のリズムがつきやすくなっています。行動的な問題のある方がほとんどですが、家庭的な雰囲気作りを心掛け、利用者が安心できる生活を提供しました。事業実績につきましては、次とおりです。

1. 利用者状況

新型コロナウイルス感染予防の為、帰省や外出がなく荘を中心とした生活でした。グループホームでの生活を希望する方数名に日中、法人内外通所施設（就労 B 1 名、生活介護 5 名）に通っていただいております。

短期入所事業は、新規登録者数は 11 名でしたが、総登録者数は 62 名です。今年度は 21 名が近隣のグループホームへ移り、利用終了となりました。利用者の中には、虐待による一時的な利用、児童入所施設からの入所希望の為の体験利用などがありました。予約制で利用していただいておりますが、家庭療育困難な方で日中支援も必要な方 3 名は、優先的に利用していただいております。

| | 定員 | 年度 | 開所日数 | 延利用者 | 利用率 | 1 日平均利用者数 |
|------|------|------|-------|----------|---------|-----------|
| 生活介護 | 40 名 | 2 年度 | 269 日 | 10,292 名 | 95.65% | 38.26 名 |
| | | 元年度 | 270 日 | 10,053 名 | 93.08% | 37.23 名 |
| 施設入所 | 40 名 | 2 年度 | 365 日 | 14,403 名 | 98.65% | 39.46 名 |
| | | 元年度 | 366 日 | 14,480 名 | 98.90% | 39.56 名 |
| 短期入所 | 5 名 | 2 年度 | 365 日 | 1,968 名 | 107.83% | 5.39 名 |
| | | 元年度 | 366 日 | 2,036 名 | 111.25% | 5.56 名 |

※短期入所は空床利用を含みます。（空床利用日 108 日）

2. 利用者の入退所状況

| 入 所 | | | 退 所 | | |
|-----------|-----|------|----------|-----|------|
| 月 日 | 人数 | 備 考 | 月 日 | 人数 | 備 考 |
| 11 月 1 日 | 1 名 | 在宅より | 9 月 3 日 | 1 名 | 死亡 |
| 12 月 12 日 | 1 名 | 在宅より | 12 月 1 日 | 1 名 | 養楽荘へ |
| 2 月 18 日 | 1 名 | 在宅より | 1 月 18 日 | 1 名 | 夢の家へ |

3. 利用者支援

(1) 日中活動

支援計画・支援手順書に沿って、本人のニーズ、障害特性を考慮し、日中支援を行いました。小グループを再編成し、創作活動・おやつ作り・農耕作業・軽作業・歩行活動（ドライブを含む）・リハビリの班に分かれ活動しました。

一日の予定は以下の通りです。

9：00～ 通所施設利用者通勤（送迎車両乗車）
 9：15～ 朝礼・ラジオ体操（全員）
 10：00～11：30 創作活動（月に1回はおやつ作り） 農耕作業・歩行・リハビリ
 13：30～14：50 運動・ダイナミックリズム・自立支援課題・ドライブ・フロアス
 ヌーズレン
 15：00～ スヌーズレン・余暇活動（DVD鑑賞など居室でゆったりと過ごす）
 そのほか毎週日曜日にはどんぐりの森の喫茶室をお借りし、喫茶室を運営しました。

(2) 行事（外出・外食）

職員がアイデアを出し、利用者さんと共にイベントを楽しみました。

| | | |
|-----------------|---------------|------------------------|
| 6月28日 | バーベキュー | 荘内 |
| 7月8日 | 七夕会 | 多目的室 |
| 8月20日 | 花火大会 | 荘内 |
| 9月26日 | 納涼祭 | 荘内 |
| 10月1日 | パン祭り | 女性棟 |
| 10月30日 | ハロウィン | 多目的室 |
| 12月16日 | クリスマス会（社協による） | ばら棟 |
| 12月24日 | クリスマス会 | 多目的室 |
| 12月29日 ～1月2日 | おやつ提供 | 赤い羽根募金で、ケーキや饅頭を購入し食べる。 |
| 1月16日 | 新年会 | 各棟・多目的室 |
| 2月15日 | 節分・バレンタイン会 | 多目的室 |

新型コロナウイルス感染予防の為、少人数で外出支援を行いました。

| | | |
|--------|---------------------------|----------------------|
| 11月13日 | ドライブ後、食事をテイクアウトし少年自然の家で飲食 | 男性棟（ひまわり棟） カレーライス |
| 11月14日 | ドライブ後、食事をテイクアウトし少年自然の家で飲食 | 男性棟（ばら棟） カレーライス |
| 11月30日 | 荘内でイベントを行い、飲食 | 女性棟 握りずし |
| 12月11日 | ドライブ後、食事をテイクアウトし荘内で飲食 | 男性棟（あやめ棟） カレーライス |
| 1月12日 | ドライブ後、食事をテイクアウトし荘内で飲食 | 生活介護のみの利用者 カレーライス |

4. 健康管理

入院者2名（低血糖による昏睡1名 アレルギー発作1名）、骨折3名、新型コロナウイルス感染者及びインフルエンザ罹患者はありませんでした。

定期健診・予防接種

| | | |
|--------|-------------|------------|
| 5月15日 | 健康診断 | 名古屋公衆医学研究所 |
| 10月6日 | 健康診断（夜勤者） | 名古屋公衆医学研究所 |
| 10月28日 | インフルエンザ予防接種 | 田島クリニック |

往診等

| | | |
|--------|-----------|------------|
| 毎月 1 回 | 健康相談等 | 沖医師 |
| | 内科医による診察 | 田島クリニック |
| | 精神科医による診察 | あさひが丘ホスピタル |
| 6 月 | 歯科検診 | 川原歯科医（養和荘） |
| 12 月 | 歯科検診 | 川原歯科医（養和荘） |

5. 給食

キッチン高森に委託し、栄養面、嗜好、季節感等を考慮した食事の提供を行いました。さらに栄養士を配置し、嗜好調査を行い保護者に報告しました。月に一度の給食会議では、看護師・栄養士・支援員が連携し、主治医のアドバイスのもと、個々人の身体状況に合わせて摂取カロリーの変更、食事形態の見直しを行いました。また、嚥下障害の方の食事摂取方法について、何度も話し合いを重ね、ご本人に最適な食事提供方法を検討しました。

6. 入浴

心身のリフレッシュと清潔保持のため、原則、毎日入浴を実施しました。

7. 環境整備

専門の清掃業者を入れ、尿・便失禁の多い利用者の居室を中心に保清に努めました。また、障害特性からくる器物破損について（扉、水道、床材等）は、その都度業者に連絡し修繕を依頼しました。器物破損による不具合で、利用者の生活に支障がないよう配慮しました。

8. 防災・防犯

避難経路マニュアルの見直し、火災・地震・風水害を想定した避難訓練を、利用者の安全の確保、生命の確保を念頭に実施しました。法人内他施設と連携をとり、BCPの作成に力を入れました。

防犯に対しては、支援員への防犯用の笛の配付、防犯スプレー・防犯ブザーの配置、人感センサーを利用者玄関、非常口に計7個設置し対応しています。

今年度は、雨天による中止や新型コロナウイルス感染予防のため、棟閉鎖したこともあり、訓練が予定通りに行えませんでした。その間、防災担当で話し合い、避難経路の見直しなどを行いました。

| | |
|-----------|------------------------------------|
| 4 月初旬 | 通報訓練・施設内消防設備及び消防器具の説明（勤務に合わせ順次） |
| 5 月 21 日 | 夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練（雨天中止） |
| 6 月 18 日 | 夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練（雨天中止） |
| 7 月中旬 | 夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練（棟内閉鎖のため中止） |
| 9 月 1 日 | 総合防災・日中地震から火災想定 避難訓練・消火訓練・通報訓練 |
| 10 月 15 日 | 夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練 |
| 11 月 19 日 | 夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練 |

| | |
|--------|------------------|
| 12月26日 | 防災教育 防災テスト実施 |
| 1月27日 | 連絡網訓練 |
| 2月21日 | 連絡網訓練 171 ダイヤル訓練 |
| 3月27日 | 風水害による避難訓練・通報訓練 |

9. 職員研修

毎月、スタッフ会議の後に、支援や虐待について研修を行いました。研修担当者が議題を持ち寄り、ワールドカフェ方式での話し合いやてんかん発作についての研修を行いました。また、1年間を通して各棟でテーマを決め、実践報告として年度末に発表会を行いました。今年度は新人副主任が多く、数回にわたり人材育成について研修を行いました。新卒の支援員に対する研修にも力を入れ、合計4回の研修を研修委員が企画し、新人職員の不安な気持ちや自らの成長についてディスカッションを行いました。

法人内の課題研究では、女性職員が問題行動への対応について発表を行いました。

法人内入所4施設の代表者により、BCPや虐待防止について話し合いを持ち、法人内のスキルアップ研修に、1名参加させ（養和荘）、1名（養和荘）の支援員を受け入れました。

10. 感染予防

新型コロナウイルス感染予防等、感染防止委員により「持ち込まない・持ち出さない」ことを目標に取り組みました。ゾーン分けのシミュレーションを行ったり、職員の施設内の動きを見直したりしました。また、来訪者に検温や健康チェックをしていただき、出勤時、職員のセルフチェックを行うなどしました。

11. 第三者評価の受審

10月、第三者評価を受審しました。受診結果を用いて、すぐに改善できることとして、利用者・保護者・後見人へのアンケートを実施し、職員へは法人理念の確認・支援員の研修の見直しを行いました。受審結果については公表されています。

12. 地域交流

毎週日曜日の午前中、隣接する特別養護老人ホームのどんぐりの森、喫茶室をお借りして、喫茶室の運営を継続して行いました。喫茶室では利用者2名、支援員1名で接客をしており、コーヒーの提供、なかぎりワークスのお菓子、キッチン高森の惣菜の販売を行いました。定期的に利用していただける方も増え、地域の交流の一旦となりました。

また、毎月第4日曜日にはスヌーズレン棟を予約制で地域の障害のある方に開放しました。（緊急事態宣言中はスヌーズレン・喫茶室共に休止しました）